

鈴鹿市の概況

本市は、昭和17年12月、2町12カ村が合併し、新市として誕生しました。三重県の中北部に位置し、東は伊勢湾に面し、西は鈴鹿山脈で滋賀県に接するほか亀山市と接し、北は四日市市に、また、南は津市に接しています。新名神高速道路、東名阪自動車道、国道1号、国道23号、国道306号等幹線道路を軸とし、これらに県道、市道が連結しており、名古屋から約50km、大阪から約120km、京都から約90kmの距離にあり、中部圏はもとより近畿圏からも比較的近い距離にあります。

気候は、年平均気温17度程度で比較的温暖ですが、冬は養老山地と伊吹山の間を抜けてくる強風（俗に「鈴鹿おろし」という。）のために寒く、市の北西部では比較的降雪量も多く、まれには海岸部まで積雪が見られることがあります。

市の概形は、東西22.6km、南北21.9kmの扇形に近い形で、面積194.46km²を有しています。鈴鹿川右岸から海岸にかけての海拔0mから、海拔900mの鈴鹿山脈までの起伏があり、北部から西南部にかけては50～80mの丘陵地を形成しています。

このような恵まれた自然環境の中で、本市は自動車産業など数多くの企業を誘致し、伊勢湾岸地域有数の内陸工業都市として発展してきました。また、農業においても、恵まれた豊かな大地で、茶や花木をはじめ、水稻などの生産が活発に行われ、農業と工業がともに成長して現在に至っています。

1 位 置	東経 136度35分	北緯 34度52分
2 市 域	東西 22.6 km	南北 21.9 km
3 面 積	194.46 km ²	
4 人 口	195,018人（令和6年3月31日現在）	
5 世 帯 数	89,358世帯（令和6年3月31日現在）	
6 市制施行年月日	昭和17年12月 1 日	
7 消防本部設置年月日	昭和24年 5 月30日	
8 消防署設置年月日	昭和34年 9 月30日	